

土壌診断に基づいた適正施肥の推進

【中央農業改良普及センター】

■ 課題名

低コスト・環境負荷軽減のための適正施肥の推進

■ ねらい

県内の農地土壌では、リン酸、カリが過剰に蓄積している圃場も多いことから、従来の施肥基準のほか、無施肥を含む減肥基準や「土壌から持ち出された肥料成分を施肥で補給する」という考え方に立った補給型施肥基準を策定し、土壌診断に基づく適正施肥を推進している。

減肥や補給型施肥による適正施肥は、生産者の所得向上につながる生産コスト削減と環境負荷の軽減が期待できることから実証圃の設置や土壌診断研修の開催等により理解促進を図った。

■ 活動対象

生産者及び営農指導員、普及員など

■ 活動経過

(1) 適正施肥実証圃

ア 実証圃の運営

県域普及グループが、実証圃設置のため、関係団体・肥料メーカー・県機関との調整を行った。また、試作肥料作成の助言を行った。生育調査等は、JA及び各農業改良普及センターが連携して行い、県域普及グループが土壌診断と調査協力を行った。実証圃は、現地指導会の会場としても活用され、生産者に適正施肥の理解促進を図った。

イ 実証用肥料

(ア) 試作特別栽培用L型肥料（水稻2か所） $N:P_2O_5:K_2O=10:8:8$ （速効）、 $10:8:8$ （肥効調節）
特別栽培に対応（速効・肥効調節型の2種類）、補給型施肥基準に近い分量の肥料

(イ) 高窒素鶏ふんペレット肥料（水稻1か所、キャベツ1か所、レタス1か所）

$N:P_2O_5:K_2O=11:3:2$

鶏ふん堆肥に尿素を添加したL型ペレット肥料（農業研究センターH25試験研究成果）

(ウ) 試作低リン酸・低カリLP肥料（レタス2か所） $N:P_2O_5:K_2O=15:3:15$ 、 $15:3:0$

豪雨による窒素流亡による小玉化を回避する肥効調節型肥料

(エ) リン酸カリ溶液浸漬処理（ねぎ1か所）慣行の20%・50%減肥

ねぎ苗をリン酸カリ溶液に浸漬処理することで本圃のリン酸施肥量を減肥

(オ) 試作低コストL型肥料（ほうれんそう2か所） $N:P_2O_5:K_2O=10:3:3$

有機質が入らないL型肥料でコスト低減とダニの発生を抑制する

ウ 検討会の開催

適正施肥実証圃実績検討会（平成29年2月10日）

(2) 適正施肥の理解促進・指導者育成

ア 「土づくり・施肥改善研修会」（H28.11月、基礎研修2回、専門研修1回 計3回開催）

イ 「土壌診断処方箋の作成者育成研修会」（H28.11月）

ウ 適正施肥推進のためのパンフレット作成（1,900部）

■ 活動成果

(1) 適正施肥実証圃

ア 試作特別栽培用L型肥料

〔水稻〕速効性肥料追肥体系では減収したが、基肥一発施肥では慣行以上の収量を確保。

イ 高窒素鶏ふんペレット肥料

〔水稻〕慣行より多収・低コスト。業務用多収米の低コスト生産での活用も期待。P・K成分が低いため、土壌診断が前提。

〔キャベツ〕地域慣行よりも調整重が若干劣った（慣行比95）が、資材費が25%低減。低成分のため現物投入量が倍になるが、肥料費軽減が可能であれば使用を希望。

ウ 試作低リン酸・低カリLP肥料

〔レタス〕地域慣行より肥料費は大幅にダウン。ただし、外葉の初期生育が旺盛で、細菌病を助長した可能性があることから肥料の配合割合を再検討。

エ リン酸カリ溶液浸漬処理

〔ねぎ〕圃場ムラ（湿害）により効果判断が難しいが、慣行並の収量と1割程度の肥料コスト低減。

オ 試作低コストL型肥料

〔ほうれんそう〕地域慣行の「ボカシ肥料」と比較し、収量品質が同等で肥料費7割減。

(2) 適正施肥の理解促進・指導者育成

ア 「土づくり・施肥改善研修会」及び「土壌診断処方箋の作成者育成研修会」を開催し、生産者・指導者のスキルアップを行った。「とても参考になった」「専門用語が難しかった」などの意見あり。

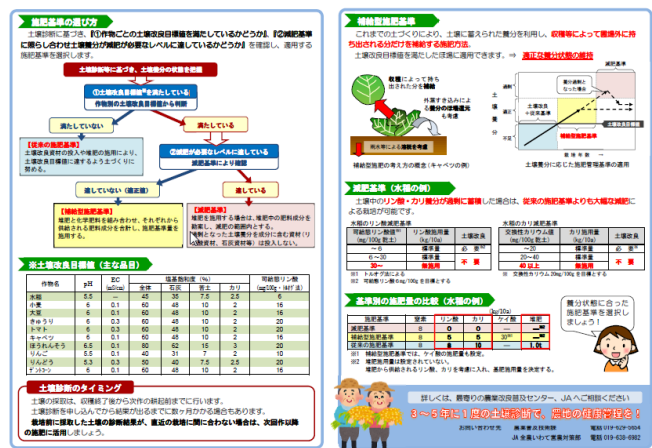
イ 適正施肥推進のためのパンフレットを作成しJA等関係機関へ配布。

(3) 残された課題

土壌養分蓄積に対応したL型肥料が産地へ普及しつつあるが、適正施肥の基本となる土壌診断の実施割合は依然として低い。本県の肥料費は全国平均よりも高く、土壌養分の蓄積実態を踏まえ、L型肥料等の積極的普及による生産コストの削減を一層強化していく必要がある。今後も、実証圃設置や研修会により、生産者に対し、適正施肥による肥料費節減のメリットについて理解醸成をすすめる。



〔土壌診断処方箋の作成者育成研修会〕



〔適正施肥推進パンフレット（イメージ）〕

■ 協働した機関

農業改良普及センター（盛岡、八幡平（岩手）、一関、二戸、大船渡）、農業普及技術課、岩手県施肥合理化協議会（事務局：全農いわて）

■ 中央農業改良普及センター県域普及グループ

水田利用・生産環境チーム（チームリーダー：小綿寿志、チーム員：中西商量、高橋正樹）

執筆者：高橋正樹

台風 10 号被災農地の土壌分析による再開支援

【宮古農業改良普及センター】

■ 課題名

■ ねらい

平成 28 年 8 月 30 日に本県に上陸した台風第 10 号は、県内各地に大雨をもたらし、河川の氾濫等により、多くの農地が土砂流入等の被害を受けた。土砂流入した農地の営農再開のためには流入した堆積土の特徴を確認し、適切な肥培管理を行うことが必要となることから、県内でも特に被害の大きかった宮古市や岩泉町を対象に、農業革新支援専門員（中央農業改良普及センター県域普及グループ）の協力を得て緊急的に土壌調査等を行った。

■ 活動対象

台風被災地域の農家、関係機関等

■ 活動経過

(1) 被災農地の土壌採取

中央農業改良普及センター県域普及グループと協力し、宮古市および岩泉町の 24 地点（地目内訳は水田 6、露地畑 14、施設 4）で、堆積土と作土に分けて土壌を採取した。

(2) 土壌化学性分析（県域普及グループが実施）

採取した土壌の分析を依頼し、出された結果の概要を普及センターだよりで普及指導パートナー等に周知した。

(3) 被災農家向けに土壌分析の周知

被災農家を対象に、緊急的に県域普及グループでの分析が可能となったことから、農家向けに資料を作成し、復旧関係の座談会等で周知した。

また、農地復旧など営農再開について相談に来た農家が、土壌分析について問い合わせるケースもあり、採取方法を説明するなど対応を行った。



被災農地の土壌採取
(右端が県域土壌担当)



堆積土（上）と作土

■ 活動成果

(1) 土壌化学性分析の結果（県域普及グループ作成資料から抜粋）

堆積土の pH は、農林水産省の地力増進指針の水田及び普通畑の改善目標値（6.0～6.5、岩泉町安家地区など石灰質土壌では 6.0～8.0）を満たしていた。ただし、水稻の栽培好適 pH（5.5～6.0）よりも高く、pH 8 に近い圃場もあることから、鉄欠乏等の微量元素欠乏が懸念される。このほか、堆積土の交換性石灰、交換性苦土などについてはバラツキが大きかった。

肥培管理においては、流入土砂は可能な限り圃場外へ排出し、作土と混和する場合は混和後の土壌を、客土を行う場合は使用する土壌の分析を行う必要がある。特に、①安家地区における高pHによる微量元素欠乏症状の発生、②砂質土壌が流入した圃場における保肥力の低下、③塩基バランスの崩れによるカリ欠乏症の発生、④可給態リン酸の不足などに留意が必要である。

(2) 被災農家向け土壌分析

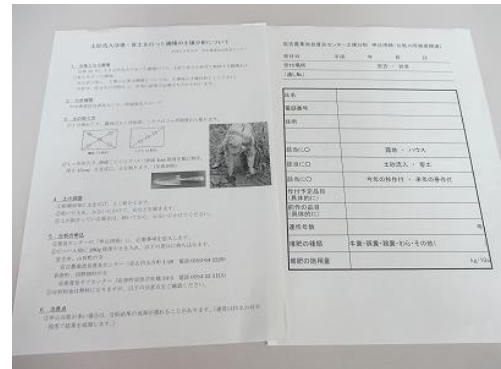
平成29年2月22日現在の受付点数は19点（内訳は水稲3、野菜9、花き7）で、このうち大半については農家への回答を年度内に完了した。

(3) 残された課題

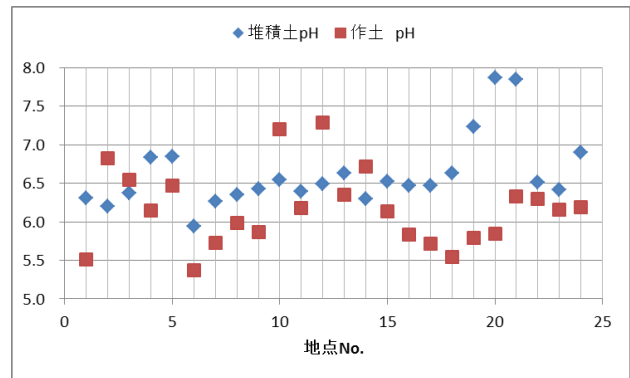
分析の結果、同一地区内でも流入土壌の化学性が異なる場合があることから、栽培前に土壌診断を行い、適正な施肥を行う必要がある。

宮古地区では、堆積土を作土と混和して作付けすることも想定され、作付が本格化する次年度以降の生育状況や品質の確認が必要である。

岩泉地区では、今後復旧工事が行われることから、工事後の土壌分析等が必要になる。



土壌分析の周知資料



堆積土と作土の pH（県域普及グループ資料より転記）、地点No.19～21 が安家地区



圃場に泥が10cmほど流入し、植えたばかりのキクや生育中の花が出荷できるか心配だったが、土壌分析を依頼し、石灰が高いため施肥に注意することなどが分かった。

台風直後に泥を混ぜて作付けした圃場は一部で生育が悪かったが、年末年始には切り花を出荷できており、今後も生育状況を見ながら作付を継続していきたい。

所属職名：宮古市花輪地区 氏名：関口和善

■ 協働した機関

農業革新支援センター（中央農業改良普及センター県域普及グループ）

■ 宮古農業改良普及センター

耕畜連携チーム（チームリーダー：長谷川 聡）

園芸振興支援チーム（チームリーダー：輪達 公重、安部 宏美）

執筆者：安部宏美

減収が見られた復旧水田における水稻収穫量の向上

【大船渡農業改良普及センター】

■ 課題名

復旧農地における水稻生産力の向上

■ ねらい

東日本大震災による津波被害を受けた圃場での水稻安定生産と収量の向上を目指す。

■ 活動対象

復旧農地で作付けする生産者

■ 活動経過

(1) 平成23年度から27年度

ア 被災圃場の復旧

震災後、被災した農地について、原形復旧や基盤整備を伴った復旧工事が行なわれ、平成28年度までに約7割の被災農地が復旧した。広大な被災農地の整備には作土に利用する土壌が不足していたため、復旧手法はその条件に合わせてさまざまな方法がとられた。

イ 復旧水田での作付と減収

復旧した水田では順次水稻が作付けされたが、ほとんどの圃場で従来と異なった土壌が作土に利用されたことから、作柄が安定しづらい傾向にあった。復旧水田のうち、作付初年目に収量が低かった圃場では、作付年数とともに収量が向上する傾向が見られていた。一方、作付初年目に多収となったが、2年目には大幅な減収となった地区も多く見られた。

(2) (農) サンファーム小友での減収事例とその要因の解明 (平成27年度から28年度)

(農) サンファーム小友は、陸前高田市小友町の復旧水田で水稻を中心とした経営を行なう大規模経営体(約90ha)であり、減収した地域での主要な経営体である。作付初年目は単収約490kg/10aと、震災前の地域平均単収約400kg/10aを大幅に超えたが、作付2年目となった平成27年度には約420kg/10aまで減収した。農業研究センター等の協力を得て調査を行なった結果、可給態窒素量の減少と、作付2年目から発生が目立ってきた難防除雑草「コウキヤガラ」が主要な減収要因だと推測された。この「可給態窒素量の急激な減少」はこれまでの知見では説明できなかったが、県を越えた広域的な情報収集に努めたことで知見が得られ、解明することができた。

小友地区を含む減収の見られた複数の地域では、津波堆積土を作土の一部として利用している。津波堆積土は岩手県農業研究センターの試験結果(2014)で報告されているとおり、水稻の生育に悪影響を及ぼすことは無いが、堆積泥に海底由来の有機態窒素が多く含まれており、一般的な土壌よりも無機化が早く進む特性がある(2012 古川農業試験場)。このため、津波堆積土を利用した水田では作付初年目に多くの有機態窒素が無機化され、2年目以降には土壌からの窒素供給がほとんど無い状況となり、上述のような「初年目多収だが2年目に減収」に至ったと推測された。

(3) 平成28年度

ア 減収圃場における施肥改善

作付2年目に減収した地域の復旧水田の作土では可給態窒素量が少なく、CECが低い特徴があったことから、肥料の効率的な利用と本来地力が補う分の窒素量を確保するため、肥効調節型肥料の利用と増肥が必要と考えられた。土壌からの窒素供給がわずかしか見込めないことを前提に、管内農協のLP肥料の施肥基準に成分量で1~2kg増肥するように指導した。

イ 難防除雑草「コウキヤガラ」への対策と発生状況の把握

これまで岩手県の水田での発生は確認されていなかったため、有用な知見が無かった。対策として、他県での事例を基に効果の高い除草剤を選定し、指導会等での対策の周知、地域農協の注文書に掲載される除草剤の変更等の対応により周辺地域への拡大を防ぐよう指導を行なった。単年度での防除が難しいことから、複数の除草剤を供試し、管内での効果を確認した。

また、より効果的な防除を行なうため、(農)サンファーム小友が耕作する復旧水田での発生状況を広域的に調査した。

■ 活動成果

(1) 施肥改善の効果

上述した(農)サンファーム小友では、施肥量を窒素成分量で約1~2kg増加し、前年稲わらの腐熟促進を徹底した結果、約470kg/10a (+50kg/10aの増加)と豊作となった初年目に迫るほどに収量が回復した。

(2) 「コウキヤガラ」への対策

効果の高い除草剤として選定した、ALS阻害剤、ピラクロニル剤を含む除草剤を施用したことにより、発生拡大を抑えることができた。また、複数銘柄を供試し効果を確認できたため、次年度以降の指導に活用する。小友地域での発生状況は図2のとおりまとめた。

(3) 次年度に向けて

小友地域での増収事例を他地域の復旧水田でも実現できるよう、地域農協の施肥体系に施肥量を増加した復旧農地向けの施肥基準を作成する等の取組を行なう。また、「コウキヤガラ」は数年がかりでの防除となることから、引き続き発生状況を調査、注視していく。



図1 復旧水田でも良好に生育

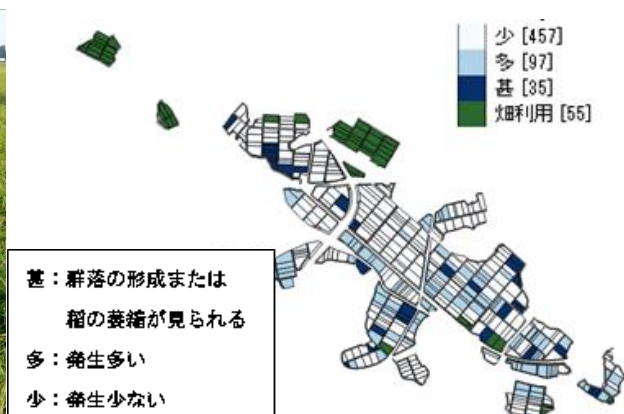


図2 「コウキヤガラ」発生状況(小友地区)



一時的な減収から収量を回復させることができたが、これに満足せず、組合が安定して経営できるような態勢を早期に実現したい。

まずは、水稻の単収500kg/10aを確実に達成できるよう施肥設計や除草管理等、適切な栽培管理に努める。また、法人として着実に収益を確保できるよう、販売を見通した栽培と出荷態勢の構築にも今後取り組みたい。

所属職名：(農)サンファーム小友 役職：専務理事 氏名：佐藤悦男

■ 協働した機関

大船渡農林振興センター、中央農業改良普及センター県域グループ、農業研究センター 等

■ 大船渡農業改良普及センター 作物経営体育成チーム

(チームリーダー：横田紀雄、チーム員：小田島芽里、多田周平、渡邊紀之)

執筆者：渡邊紀之

Ⅲ 参考資料

- 1 平成 28 年度普及指導活動時間集計**
- 2 平成 28 年度普及関係職員名簿**
- 3 普及関係公所の所在地及び連絡先**

1 平成28年度普及指導活動時間集計

(単位：時間、人、月)

活動区分	計画				活動			要請活動				調査研究 (13)	普及指導員に対する指導・研修 (14)	・所内 会議 ・事務 等の 打合せ	研修 その他 (16)	その他 (17)	普及活動時間合計 (18) =(7)+(11) +(13)~(17)	普及指導員に 関わった (人)	左記普及指導員の延べ活動月数 (月)	行政事務の執行に要した時間 (19)
	現地指導		指導準備		体関係 と機 の関 連・ 携団 (6)	指 導 準 備 (5)	現 地 指 導 (8)	指 導 準 備 (9)	体 関 等 係 と 機 の 関 連 ・ 携 団 (10)	計 (11) =(8)~ (10)	うち 災害 対応 (12)									
	個別 農家 (1)	集 団 (2)	農 業 法 人 (3)	小 計 (4) =(1)~(3)																
所長 ①	1,044	996	41	2,081	2,400	2,682	7,163	0	10	13	6,484	422	1,969	16,522	10	120	1,109			
普及指導員計 ②	48,376	17,311	3,172	68,859	110,302	25,213	204,374	299	4,091	332	24,441	6,647	6,570	250,188	141	1,670	2,112			
農業革新支援 専門員計 ③	3,193	1,264	198	4,655	20,525	6,649	31,829	5	624	835	2,569	1,508	874	38,732	22	261	181			
合計 ④ (①+②+③)	52,613	19,571	3,411	75,595	133,227	34,544	243,366	304	4,725	1,180	33,494	8,577	9,413	305,442	173	2,051	3,402			
普及指導員以外 計(指導業務に 関わる技師等) ⑤	9,076	2,743	356	12,175	22,837	3,101	38,113	150	1,344	0	1,430	6,851	2,130	51,790	28	273	149			
合計 ⑥ (④+⑤)	61,689	22,314	3,767	87,770	156,064	37,645	281,479	454	6,069	1,180	34,924	15,428	11,543	357,232	201	2,324	3,551			

注：1 「計画活動」とは、普及指導計画に基づく活動のことで、「要請活動」とはそれ以外の活動をいう。従って、農業者の要請に基づく活動であっても、計画に組み込まれていないものであれば「計画活動」となる。

2 「当該活動に関わった普及指導員数」には、当該年度に調査対象とした普及指導員の実数を記載し、「左記普及指導員の延べ活動月数」には、これらの普及指導員の延べ活動月数を記載する。

3 「普及指導員②」欄には、所長及び農業革新支援専門員以外の普及指導員について記載する。(支所長を含む。)

4 「農業革新支援専門員③」欄には、農業革新支援専門員として位置づけられている普及指導員(県域普及グループ)について記載する。(所長を除く。)

2 平成28年度普及関係職員名簿

(1) 農業改良普及センター

中央農業改良普及センター

所	長	山	館	忠	徳
副	所	長	沼	田	聡

県域普及グループ

技 術 主 幹	兼	高	橋	晋
普 及 主 幹	長	佐	藤	己
技 術 主 幹	兼			
普 及 主 幹	長			

〔総務チーム〕

主	査	総括	佐	藤	祐	里	江
主	査		主	濱	理		恵

〔普及スタッフ〕

主	業	普	及	査	員	佐	藤	賢
農								

〔経営・担い手チーム〕

上	業	普	及	席	員	総括	佐	藤	嘉	彦
農				査	員		葛	卷	美	知
主	業	普	及	査	員		本	城	淳	子
農				査	員		松	浦	貞	彦
主	業	普	及							
農										

〔畜産チーム〕

上	業	普	及	席	員	総括	及	川		修
農				任	員		須	藤	知	生
主	業	普	及							
農										

〔水田利用・生産環境チーム〕

上	業	普	及	席	員	総括	小	綿	寿	志
農				席	員		中	西	商	量
上	業	普	及	席	員		高	橋	正	樹
農										

	〔園芸チーム〕						
上農	業 普 及	席 員	総括	佐	藤	成	利
上農	業 普 及	席 員		山	田		修
上農	業 普 及	席 員		加	藤	真	城
主農	業 普 及	査 員		高	橋	拓	也

	軽米普及サブセンター						
技 術 主 幹 兼 所 長	兼 普 及 課			高	橋	正	広

	〔野菜チーム〕						
上農	業 普 及	席 員	総括	小	原	貴	子
主農	業 普 及	任 員		洞	口	博	昭

	〔畜産チーム〕						
上農	業 普 及	席 員	総括	山	口	直	己
主農	業 普 及	査 員		西	田		清
農 業 普 及	員			米	澤	智 恵	美

	地域普及グループ						
普 及 課 長				住	川	隆	行
普 及 課 長				町	屋	宜	亨

	〔担い手チーム〕						
上農	業 普 及	席 員	総括	中	野	央	子
主農	業 普 及	査 員		木	村	陽	子
主農	業 普 及	任 員		内	田	愛	美
主農	業 普 及	任 員		古	川		勉
農 業 普 及	員			一	沢	あ	ゆ み

	〔畜産チーム〕						
上農	業 普 及	席 員	総括	畠	山	公	子
農 業 普 及	員			佐 々	木	正	俊
農 業 普 及	員			高	村	聡	美

〔作物チーム〕
 主農主農技 業普及 業普及 任員任員師 総括 臼齋佐々木 井藤木 智真俊 理子祐 彦子祐

〔園芸チーム〕
 上農上農上農主農主農技 業普及 業普及 業普及 業普及 業普及 席員席員席員査員任員師 総括 鈴高土阿佐細 木橋田部藤越 哲司 典陽穂 子子太

遠野普及サブセンター
 技術主幹兼所長 兼普及課 伊藤公成

〔耕畜連携チーム〕
 主農主農 業普及 業普及 査員査員 総括 昆葉 悦彩 朗

〔園芸チーム〕
 主農主農農 業普及 業普及 業普及 査員任員員 総括 梅高 澤橋橋 学輔美

西和賀普及サブセンター
 技術主幹兼所長 兼普及課 佐藤弘

〔農業農村活性化チーム〕
 上農上農主農主農 業普及 業普及 業普及 業普及 席員席員査員査員 総括 石齋菅藤 川藤原澤 輪理聡美 子恵子

盛岡農業改良普及センター

所 技 術 主 幹 兼 長 普 及 及 課 長 (經 営 体 ・ 就 業 起 業) 普 及 課 長 (園 芸 振 興) 普 及 課 長 (作 物 ・ 畜 産 振 興)	高 菊 柳 田 野 島	橋 池 谷 島	則 浩 浩 義	光 之 子 人
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------	------------	------------	------------

〔経営体育成チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 主 農 業 普 及 査 員 主 農 業 普 及 任 員	総括	小 田 中 三 保 野 築 地	浩 哉 元 紀 邦 晃
-------------------------------------------------	----	-----------------------	-------------------

〔就農・起業支援チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 主 農 業 普 及 任 員 技 師	総括	櫻 田 成 田 小 笠 原	弘 光 恵 美 南 美
---------------------------------------	----	---------------------	-------------------

〔作物振興チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 上 農 業 普 及 席 員	総括	山 本 渡 邊	研 子 麻 由 子
--------------------------------	----	------------	--------------

〔畜産振興チーム〕

主 農 業 普 及 査 員 主 農 業 普 及 任 員	総括	平 久 保 小 梨	友 美 茂
--------------------------------	----	--------------	----------

〔野菜振興チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 主 農 業 普 及 査 員 主 農 業 普 及 任 員 主 農 業 普 及 任 員	総括	桑 原 及 川 目 時 及 川	政 之 美 佳 梨 佳 奈 美 絵
------------------------------------------------------------------	----	--------------------------	----------------------------

〔果樹振興チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 主 農 業 普 及 任 員	総括	石 川 小 野 寺	勝 規 理
--------------------------------	----	--------------	----------

〔花き振興チーム〕
 主 業 普 及 査 員 総括 鹿 糠 美 雪
 農 業 普 及 員 菅 野 千 聖

八幡平農業改良普及センター

所 長 高 橋 昌 子
 技 術 主 幹 兼 一 守 貴 志
 普 及 課 長 (農 産 環 境)
 普 及 課 長 (担 手 經 営) 池 野 圭 祐
 普 及 課 長 (園 芸 振 興) 中 村 英 明

〔担い手経営チーム〕
 主 業 普 及 査 員 総括 藤 澤 真 澄
 主 業 普 及 査 員 藤 原 千 穂
 農 業 普 及 員 菊 地 雄 大
 技 師

〔農産環境チーム〕
 主 査 郡 司 政 宏
 技 師 塚 澤 龍 太 郎

〔園芸振興チーム〕
 上 業 普 及 席 員 総括 後 藤 純 子
 上 業 普 及 席 員 千 葉 賢 一
 農 業 普 及 員 菊 池 奈 美

岩手町駐在
 普 及 課 長 照 井 富 也

〔高原野菜チーム〕
 主 業 普 及 査 員 総括 小 原 善 一
 主 業 普 及 査 員 千 田 裕

〔畜産振興チーム〕
 上 業 普 及 席 員 総括 堀 間 久 己
 主 業 普 及 任 員 小 松 真 弓
 農 業 普 及 員 篠 崎 創

奥州農業改良普及センター

所 長	佐 々 木	力
技 術 主 幹 兼 長	皆 上	和 弘
普 及 課 長	菅 原	浩 視
(担 手 育 成)		
普 及 課 長	中 森	久 美 子
(水 田 農 業 ・ 畜 産 經 営)		
普 及 課 長	佐 藤	利 憲
(園 芸 經 営)		
行 政 専 門 員	(県 南 広 域 振 興 局 農 政 部 本 務)	

〔担い手育成チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 総 括	佐 藤	敬
主 農 業 普 及 査 員	澁 谷	ま ど か
主 農 業 普 及 任 員	松 浦	彩 子
技 師	遊 佐	公 哉

〔水田農業経営チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 総 括	和 野	重 美
主 農 業 普 及 任 員	泉 川	澄 男

〔園芸経営チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 総 括	中 野	俊 成
主 農 業 普 及 査 員	河 田	道 子
主 農 業 普 及 査 員	細 川	史 絵
農 業 普 及 員	岩 渕	瑛 子
農 業 普 及 員	秦	広 和

〔畜産経営チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 総 括	茂 呂	勇 悦
主 農 業 普 及 査 員	長 澤	亨 亨
技 師	新 井	勇 児

一関農業改良普及センター

所 技 術 主 幹 兼 長 普 及 課 兼 長 (担い手・農村活性化)	高 橋 英 明
技 術 主 幹 兼 長 普 及 課 兼 長 (作物・畜産振興)	佐 藤 正 昭
技 術 主 幹 兼 長 普 及 課 兼 長 (園芸振興)	須 貝 克 晴
主 任 主 査	島 山 克 也
	鈴 木 千 津

〔担い手・農村活性化チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 総 括	千 葉 守
主 農 業 普 及 査 員	東 海 林 豊
主 農 業 普 及 査 員	村 田 就 治 子
主 農 業 普 及 任 員	氏 橋 明 子

〔水田営農推進チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 総 括	佐 藤 千 秋
主 農 業 普 及 査 員	大 友 英 嗣
技 師	佐 藤 拓 也

〔野菜振興チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 総 括	鴨 志 田 千 恵 子
上 農 業 普 及 席 員	中 村 久 美 子
主 農 業 普 及 査 員	細 川 健 里
技 師	柴 田 愛 里

〔果樹振興チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 総 括	及 川 耳 呂
主 農 業 普 及 査 員	薄 衣 麻 里 子

〔花き振興チーム〕

上 農 業 普 及 席 員 総 括	志 田 た つ 子
農 業 普 及 員	鈴 木 翔

宮古農業改良普及センター

所 普 及 課 長 (園芸振興) 普 及 課 長 (構築連携) 普 及 課 長 (担い手・農村活性化)	長	菊	池	徹	哉
		伊	東	芳	樹
		伊	藤	修	
		大	里	達	朗

〔耕畜連携チーム〕

上 農 業 普 及 席 員	総括	長	谷	川	聡
農 業 普 及 員		小	崎	洋	平
技 師		上	出	拓	海
技 師		太	田	薫	

〔担い手・農村活性化チーム〕

上 農 業 普 及 席 員	総括	小	野	浩	司
上 農 業 普 及 席 員		早	川	博	史
技 師		小	原	幸	

〔園芸振興支援チーム〕

上 農 業 普 及 席 員	総括	輪	達	公	重
主 農 業 普 及 査 員		吉	田	昌	史
主 農 業 普 及 査 員		安	部	宏	美

岩泉普及サブセンター

所 長 兼 普 及 課 長		加	藤	満	康
---------------	--	---	---	---	---

〔園芸振興支援チーム〕

上 農 業 普 及 席 員	総括	富	永	朋	之
上 農 業 普 及 席 員		佐	々 木	満	

〔畜産振興支援チーム〕

主 農 業 普 及 任 員	総括	齋	藤	浩	和
技 師		高	木	泰	昌
技 師		荒	谷	祐	介

久慈農業改良普及センター

所	長	三	田	重	雄
普及課長		伊	藤	勝	浩
(産地育成・水田農業)		佐	々	洋	一
普及課長		三	熊	有	孝
(総務・産地育成)					
普及課長					
(普及企画・農村活性化)					

〔担い手育成チーム〕

上農	業普及	席員	総括	加	藤	清	吾
上農	業普及	席員		名	久	井	樹
農	業普及	員		武	田	純	子
農	業普及	員		小	岩	央	幸
技		師		半	田	翔	也

〔産地育成チーム〕

上農	業普及	席員	総括	安	藤	義	一
主農	業普及	任員		高	橋	修	
農	業普及	員		菊	池	紘	子
農	業普及	員		佐	藤	聡	太

〔農村活性化チーム〕

上農	業普及	席員	総括	佐	藤	真	澄
農	業普及	員		田	口	礼	人
技		師		千	田	聡	実

二戸農業改良普及センター

所	長	澤	田	実
技術主幹	兼	佐	藤	正
普及課長				一
(作物・集落)				
普及課長		千	葉	克
(担い手農村起業)				彦
普及課長		高	橋	守
(園芸振興)				

〔担い手・農村起業育成チーム〕

上農主農主農	業普及業普及業普及	席員査員査員	総括	昆高富	野橋田	善寿典	孝夫子
--------	-----------	--------	----	-----	-----	-----	-----

〔集落・作物経営体育成チーム〕

上農技技	業普及	席員師師	総括	伊菅赤	藤原坂	美あ尚	穂つ子生
------	-----	------	----	-----	-----	-----	------

〔園芸経営体育成チーム〕

上農上農主農農技技	業普及業普及業普及業普及	席員席員査員員師師	総括	佐久佐村安戸	藤米藤上津沢	喬正有珠留ひ	明香利奈かる
-----------	--------------	-----------	----	--------	--------	--------	--------

(2) 農業普及技術課（普及関係）

総括課長				高橋	昭子
普及担当課長				竹澤	利和

〔普及担当〕

主任主査	主任主査	主任主査	主任主査	主任主査	主任主査	主任主査	主任主査
				佐々木	久彦		
				千葉	美由喜		
				藤澤	静香		
				門間	剛		
				阿部	敦		
				今野	泰史		

※平成28年6月22日時点の配置から作成

3 普及関係公所の所在地及び連絡先

公 所 名	所 在 地	TEL	FAX
農業普及技術課(普及主務課)	020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1	019-629-5652	019-629-5664
中央農業改良普及センター			
県域普及グループ(農業革新支援センター)	024-0003 岩手県北上市成田20-1	0197-68-4435	0197-71-1088
軽米普及サブセンター	028-6222 岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1	0195-47-1075	0195-49-3013
地域普及グループ	024-0003 岩手県北上市成田20-1	0197-68-4464	0197-68-4474
遠野普及サブセンター	028-0525 岩手県遠野市六日町1-22	0198-62-9937	0198-62-0362
西和賀普及サブセンター	029-5512 岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-235	0197-82-3125	0197-82-2212
盛岡農業改良普及センター	020-0023 岩手県盛岡市内丸11-1	019-629-6730	019-629-6739
八幡平農業改良普及センター	028-7112 岩手県八幡平市田頭39-72-2	0195-75-2233	0195-75-2269
岩手町駐在	028-4307 岩手県岩手郡岩手町大字五日市9-48-1	0195-62-3321	0195-62-1377
奥州農業改良普及センター	023-1111 岩手県奥州市江刺区大通り7-13	0197-35-6741	0197-35-6303
一関農業改良普及センター	029-0803 岩手県一関市千厩町千厩字北方85-2	0191-52-4961	0191-52-4965
大船渡農業改良普及センター	022-8502 岩手県大船渡市猪川町字前田6-1	0192-27-9918	0192-27-9936
宮古農業改良普及センター	027-0072 岩手県宮古市五月町1-20	0193-64-2220	0193-64-5631
岩泉普及サブセンター	027-0501 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字松橋24-3	0194-22-3115	0194-22-2806
久慈農業改良普及センター	028-8042 岩手県久慈市八日町1-1	0194-53-4989	0194-53-5009
二戸農業改良普及センター	028-6103 岩手県二戸市石切所字荷渡6-3	0195-23-9208	0195-23-9387